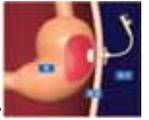


特集 胃瘻の管理～スキンケア～

今回は、胃瘻の中でも特にPEG(経皮内視鏡的胃瘻造設術)について説明していきます。



1. 胃瘻とは

内視鏡で胃の中を見ながら腹部から針を刺し、腹部から胃に通じる小さな穴を開けます。その穴に胃瘻カテーテルを通して留置してできる「孔」を「胃瘻(瘻孔)」といいます。胃瘻の手術に要する時間は約10分～15分程度で、手術後約3週間で胃瘻ができあがります。

2. 胃瘻のトラブル

	症状	対処方法
瘻孔周囲炎	<ul style="list-style-type: none"> ・発赤  <ul style="list-style-type: none"> ・感染 瘻孔周囲に発赤、腫脹、疼痛、熱感があり、浸出液を伴うこともある	<ul style="list-style-type: none"> ・カテーテルストッパーが皮膚を圧迫していないか →カテーテルストッパーを適度に緩めて観察する ・栄養剤や胃液の漏れはないか →注入速度や注入量を調節して漏れを防ぐ →周囲皮膚に撥水効果のかかる薬剤などを塗布する ・周囲皮膚に清潔を保つ ・瘻孔部は毎日、生理食塩液で洗浄する 浸出液が多い場合は、1日2～3回洗浄を行う ・胃瘻・腸瘻カテーテルが一定部分の瘻孔壁、辺縁を圧迫しないよう、胃瘻・腸瘻カテーテルの固定方法を工夫する。
不良肉芽	<ul style="list-style-type: none"> ・瘻孔部の辺縁に、一部または全周性に赤く湿潤した隆起が生じる。少量の浸出液がありガーゼで拭いたり、こすれたりすると少量の出血や痛みを伴うこともある 	<ul style="list-style-type: none"> ・硝酸銀ないしは綿棒を硝酸銀液に浸し、不良肉芽部にあてて腐食させる。その後、生理食塩液をつけた綿棒で拭く。不良肉芽が増大し、痛みや出血など患者の苦痛が強い場合は、医師に相談し外科的切除を行うこともある。ケアに支障がなく、患者の苦痛がない場合は、これらの処置をせず様子を見てもよい。 ・胃瘻・腸瘻カテーテルの向きは毎日変える ・瘻孔周囲の皮膚は、常に清潔を保つ
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・胃瘻の閉塞 胃瘻・腸瘻カテーテルが長く、細いほど、粘稠性が高いほどつまりやすくなるため、閉塞防止に注意する	<ul style="list-style-type: none"> ・つまらないようにするために →粉末薬剤は微温湯に十分溶かし、だまにならないようにする →食酢を水で4～10倍に希釈したものを、経腸栄養剤注入後に30mL注入し、クランプしておく

3. 胃瘻の交換時期

胃ろうチューブにはボタン型とチューブ型があり、それぞれにバルーン型、バンパー型があります。胃瘻は胃酸にさらされるため、定期的な交換が必要です。バルーン型は1～2か月毎、バンパー型は4～6か月毎に交換する必要があります。退院後も在宅で管理できるように、次回交換日程や交換場所なども説明していきましょう。

専門看護師（CNS）の役割（その14）：事例研究をやってみよう！

小児看護専門看護師
市原真穂
(787)



現在、ステップアップ研修のレベルⅡ、レベルⅢでは「事例検討/事例研究」に取り組んでいます！！「事例研究」ってどのようなものなのでしょうか？

この事例にはどのような事実や現象が含まれているのだろうか？
下記の2つのどちらかの型（デザイン）を用い、事例の中で起こったあるいは起こっている事実や現象を解明しよう

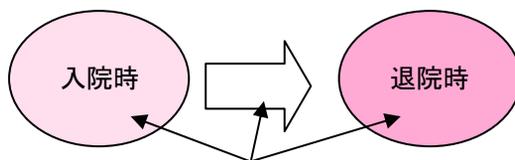
一生懸命考え、看護計画を立てて関わったけど、うまくいかなかったのはどうしてなんだろう

看護展開がうまくいった。なぜ成功できたのか明らかにしたい

重大な問題に直面しているこの方の看護計画を立てて、ケアの効果を検証したい

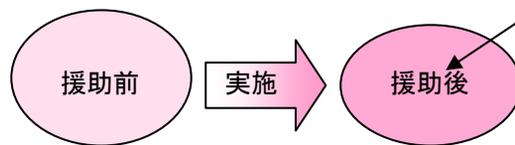
このような臨床の疑問を解決するには、事例研究が最も適しています

①何が起きたのか調べよう型/記述型



ここにどのような事実や現象が含まれているか？

②看護計画を検証しよう型/仮説検証型



アセスメント
看護計画立案

評価・検証

何がどのように変わったのか？
変わった理由は？

<参考文献>

黒田裕子 看護研究 step by step 第3版、Gakken

市原の活動予定

<http://sites.google.com/site/mahoichihara/home/carender>

Continance (失禁) - ②

シース型収尿器(男性用尿失禁管理製品)

今回は、排泄ケア用品の一つである、シース型集尿器(男性用尿失禁管理製品)について、その適応や利点などについて紹介します。

適応

- ・脊椎・頸椎損傷後
- ・脳出血、脳梗塞、パーキンソン病、多発性硬化症などの中枢神経疾患
- ・前立腺手術後
- ・褥創のある方、又は恐れのある方
- ・膀胱、腸などの手術後
- ・上記以外の切迫性尿失禁や反射性尿失禁等



このようなことで困っていませんか？

- オムツ交換の頻度が高い
- 夜間のトイレのために転倒の恐れがある
 - ・介護負担が大きい
 - ・夜間の安眠が妨げられる
- オムツの着用
 - ・ごわつく
 - ・リハビリやスポーツの際に動きづらい
 - ・装着が目立つ
- オムツ管理によりゴミの廃棄量が増加
 - ・重量がかさみ、廃棄に労力がかかる

シース型収尿器は1日に1回の交換
ペニスに直接装着後
外部蓄尿袋へ尿をためて使用します

- 頻回なオムツ交換の負担を軽減します
- ご使用者、介助者の方の夜間の安眠を妨げません
- 体動を妨げません
- リハビリやスポーツの際にも目立ちにくく、身軽です
- 1日にできる廃棄物は手のひらサイズのシース1個のみ

※価格は製品より異なりますが、200円/個程度です。 皮膚・排泄ケアCN 室岡陽子（外来）